



開教 50 周年記念大接心参加者

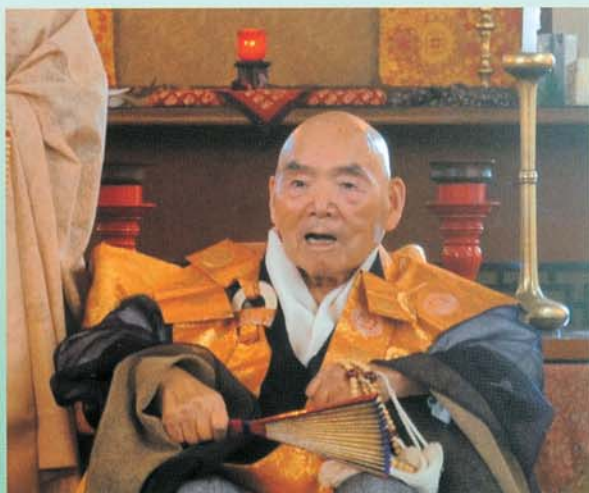


傳嚮室 佐々木承周老師 米國開教50周年に参加して

去る7月16日より23日迄、傳嚮室佐々木承周老師米國開教50周年祝賀行事に参加する為にロサンゼルスに参りました。承周老師は瑞巖寺127世承天老師の法嗣で、今年105歳になられます。小衲は老師が小衲の祖父の従兄弟という俗縁もあり、この祝賀団の渡米に関わらせて頂きました。

今回は瑞巖寺専門道場出身の僧侶の言わば同窓会である朋友会主催による旅行で、訪問を打診した段階から承周老師はこの訪問をとっても喜んで下さったとのこと。一月に老師は体調を崩されており、容態を案じておりましたが、画像の通り、とても105歳とは思えぬ活力に満ちたご尊顔に接し、こちらが励まされる思いが致しました。

今回私達が訪れた道場はシマロンとマウント・バルディの禪道場で、妙心寺派の寺院録に記載されているのは、現在、老師がお住まいのシマロン道場で、ここには臨濟寺という扁額が掲げられています。瑞巖寺の起雲軒老師を团长とする朋友会一行はこのシマロン



満 105 歳を迎えられた承周老師

禪センター「臨濟寺」にて米國開教50周年の読経を申し上げました。



シマロン禅センターで昼食を頂き、一行は続いて、承周老師の禅センターの総本山的な場所であるマウント・バルディ禅センターに移動し、開教50周年記念接心中の雲水、居士大姉が行う晩課（午後の読経）に参加しました。そして、一部のモノ好きがマウント・バルディ禅センターに2泊の滞在！当然、モノ好きには小納も含まれます。外国の接心に参加するのは初めてでしたが、とにかく参加者のすべて方々が熱心に坐禅に取り組む様子に感動致し



臨済寺（シマロン禅センター）禅堂

ました。マウント・バルディ禅センターの坐禅の特色は坐禅の合間に行う経行（きんひん：疲労した脚などを回復させ、睡魔を除く為に歩行を行う事）がとても多いということでしょう。胡坐の習慣も無い欧米社会にあつて、坐禅の姿勢は決して楽では無いと思われまます。経行が長いのはこれに対応する為の一つの工夫なのでしょう。それでも、マウント・バルディ禅センターの接心は朝3時の起床から夜9時の就寝まで、びっしりと坐禅中心に日程が組まれていきます。今回は老師のご体調の事もあり、日本の接心よりも長い時間、坐っていると思われました。また、老師におかれては体調を崩される一月の接心までは雲水の参禅を聴いていたとの事、その布教伝導の熱意にはただ敬服するのみであります。

さて、接心に私と同行して下さったのは大梅寺坐禅会の方々4名。今回は全体で14名の参加者がありましたが、禅センターに宿泊したのは小納とこちらの4名だけでありました。もう少し若手の僧侶が参加してくれることを期待しましたが…。マウント・バルディ禅センターの雲水諸兄からは懇切丁寧

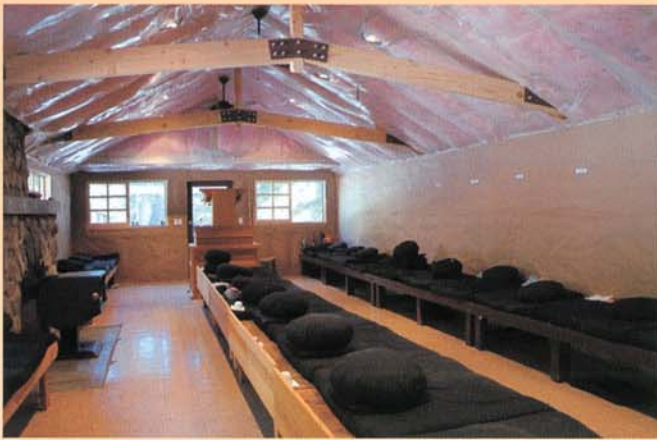


瑞巖寺朋友会有志が臨済寺僧侶と記念の読経

にお世話を頂きました。日本の禅堂の作法を踏襲しながら、随所に欧米の食文化や諸堂の配置に合わせて工夫されたアメリカの禅堂の生活は、たった二泊三日ではありましたが、新鮮で興味深いものがありました。昨今の日本人の生活は著しく欧米化されており、これから一般向けの坐禅会等を運営する上で、禅センターの規矩（きく…規則）はとても参考になるものだと思います。

瑞巖寺一行が帰国した翌日、7月21日シマロン禅センターにて、米国開教

50周年式典が米国の弟子たちによって開催されました。実はこの式典の日程は瑞巖寺専門道場朋友会の渡米日程がほぼ決定してから決まったもので、米國臨濟寺からは我々にも参加要請を頂戴しましたが、瑞巖寺の老師の国内での法務があつた為に、小納だけが米国に逗留し、参加させて頂きました。この式典には妙心寺山内靈雲本菴の曇華室則竹秀南老師も参加されました。承周老師とは無文老師の随行で米國を訪問されて以来のお付き合いだそうです。



マウント・バルディ禅センターの禅堂

一行の中には東園寺の宿院である蟠桃院さんいらっしゃいました。お祝いの法要では焼香師を務めたお弟子さんにより、高らかに「万歳」を唱えられました。米國の万歳は片腕で天を突き上げるが如くします。万歳というよりは雄叫びを上げている感じです。そして、ここで承周老師がこれに苦言を呈されました。「なんでワシの方を向いて万歳をするのだ！ここに居る皆さんと共に万歳をするのだ！ワシに向かって万歳をしようする！」この時、老師の眼は真剣そのもの。日本では斯様な式典中に主役の老大師が怒鳴る等という事は考えられぬことでありますが、一場の法要を真剣勝負、布教伝道の場合と捉える姿には感銘しました。まあ、怒られたお弟子さんには気の毒ですが、語録の一場面のようにありました。承周老師のご挨拶にもいろいろ感ずるところがありました。小納の概念というものを通してそれを表現すると老師が示されたところから、大いに外れてしまいうすから紹介は止めておきましょう。

シマロン禅センター（臨濟寺）での法要の後、センター隣のライブラリ

ーに会場を移し、盛大に祝宴が催され、米國人による雅楽の演奏も披露されました。また、承周老師の禅センターや弟子達が主宰されている多くの坐禅会の様子を紹介するパネル展示もあり、老師の布教伝道の記録と欧米への禅の広まりを知ることが出来ました。米國の地に禅が脈々と生きていることを感じさせられます。パーティーの席では、共に坐禅をした雲水諸兄と歓談することが出来ました。接心中はまったくの無表情だった彼らも、実に楽しい方々で、そのギャップは小納をすこぶる愉快にさせくれました。



パーティーでの雅楽の演奏



坐禅の合間に行われる経行の様子

今回の接心に参加していた40名弱の人が、皆坐禅をしたくて集っているという事実は小納にとって新鮮で心地よいものでありました。小納自身もそうでしたが、本邦の専門道場は住職になる為の資格を取得する為に、その門をくぐる雲水が殆どだと思えます。もちろん、道場内で薫陶を受けることにより、自らの非を悟り、修行に邁進する者もいるでしょうが、専門道場を出てから定期的に進んで坐禅をする臨済宗僧侶

がどの位いるでしょうか？現在、承周老師の禅センターで修行をした人々がそれぞれ縁のある場所で坐禅会を為しています。斯様な事を思うと米国の禅が日本に学ぶ事よりも、我々日本の禅門が米国のスタイルに学ぶべき事の方が多いとさえ思えるのです。

末筆ながら、承周老師米国開教50周年と、ご健勝をお祝いし、この旅行と接心参加に際し、ご助力を頂いたシマロン禅センター、マウントバルディ禅センターの役位の方々、日本とのパイプ役となって下さった妙蓮さん、いろいろとレクチャーして下さいました妙泉さん、そして配車トラブルに際し、長時間ドライブをして下さったマウントバルディ知客さん、アリゾナ白雲寺さんに心より御礼申し上げます。

庫裏屋根不動堂修繕 無事終了

3月末から始まった屋根の葺き替え、不動堂修繕工事が無事終了しました。何れも安全な銅板葺きとし、軽量化を計りました。今後の建物の保存の為に有益なものであるかと存じます。

行事報告

○大回向

5月1日、二年ぶりに本堂での開催となった大回向、満堂の参拝を頂きました。



大回向 布教師 愛媛県観音寺 山崎忠司師

○瑞巖寺129世素雲軒老師分骨

法要・熊耳山参拝

去る6月7日より、瑞巖寺先住職平野宗浄老師の熊耳山分骨法要の旅に参加して参りました。熊耳山が禅宗初祖達磨大師が葬られたところであります。今回の旅は縁あって既に同所に安置されていた老師のご遺骨を正式に熊耳山空相寺に安骨する法要を弟子達により営む為でした。団長は北海道・瑞龍寺の起龍軒老師、瑞巖寺よりは執事である長慶寺和尚、岐阜県より老師の子息である桂峰寺和尚、老師のご寺庭、そして老師の会下を中心とする参加者

により、法要が厳修されました。



熊耳山空相寺にて

○婚活の集い「寺コン」が開催されました。

去る6月23日午後1時30分、当山としては初めての試みとなる婚活の集いが男女合わせて40名の参加者を得て、開催されました。初回ということ、参加者の確保等様々な懸念がありましたが、当初予定の30人定員をオーバー



寺コン！ 先ずはお勤め

して予想外の盛会となりました。今回参加者のご要望もあり、11月には第二回寺コンを開催致します。詳しくは8ページをご覧ください。

○お盆行事

今年も精霊迎え、新亡供養、戦死病没者供養、精霊送り法要が厳修され、多くの信徒にお参り頂きました。



精霊迎え法要



新亡供養

○地蔵流し

9月6日、二年ぶりに地蔵流し海上法要が厳修されました。多くの人命が失われた海での震災後初の法要は非常に意義深いものとなりました。



地蔵流し法要

坐禅会

毎週日曜日朝七時坐禅会

東園寺本堂地下教化センターにて

釈子塔

釈子塔はみんなの墓地。戒名を受ければ仏教徒で皆が兄弟弟子です！お子様のいらっしゃる方や、様々な事情で墓地を取得することが難しい方、是非ご相談下さい。現住も入るお墓ですので御安心を！

永代供養冥加金 お一人様 100,000 円(東園寺檀信徒の方)
150,000 円(檀信徒以外の方)

墓地情報

境内墓地でございます。

永代使用冥加金 30 万円より。後継者が居られなくても墓地を使用できる夫婦墓や個人墓もございます。



○THE ZEN CLUB
心と身体を健康を！
東園寺研修センターザゼンクラブが昨年12月より再開しています。
東園寺檀信徒、幼稚園保護者は入会金が無料となります。



塩釜中央幼稚園・塩釜第二中央幼稚園

幼稚園だより

たのしいおもいでいっぱい1ねんかん



お茶のお稽古 (第二)



サッカー教室 (中央)



書道教室 (中央)



夏祭り・盆踊り (中央)



坐禅 (中央)



ファミリーコンサート (第二)



水泳教室（第二）



花祭り子供大会（中央）



楽しい給食（第二）



参観日（中央）

これからの行事活動



運動会（第二）



お茶のお稽古（中央）



お遊戯会（第二）



節分（第二）

寺庫紹介

面壁達磨画賛 白隠慧鶴禅師



白隠禅師は言わずと知れた臨済宗中興の祖と謳われる方で、現在の臨済宗の法流は妙心寺派に限らず、白隠禅師にたどり着く。正法の源流という堅苦しいが、白隠は多くの弟子を厳しく指導する一方、数多くの書画を残している。この中には弟子に与えたと思われる作品も残されるが、多くは庶民の求めに応じて画かれたものである。従来、白隠の書画は画自体のユーモラスな画風と相反して難解な内容が多いとされたが、最近の研究では、江戸の流行言葉や芝居の一場面の内容を取り入れたものが多く、江戸時代の庶民には容易に理解できたものも多数存在していることが認められている。當山の所蔵は著名な面壁の達磨。賛も「面壁乃達磨大師也」と置く。

この墨蹟が東北歴史博物館で展示されます。また、左記にて白隠禅師研究の第一人者である芳澤勝弘先生の講演会がごさいます。是非ご高覧下さい。

宮城の文化 高僧たちの墨跡

場所 東北歴史博物館

開催期間

平成24年9月19日～11月4日
午前9時30分～午後5時まで

休館日

毎週月曜日

(祝日・休日の場合は翌平日)
常設展観覧券でご覧になれます。

一般400円

(20名以上の団体は320円)
(小・中・高校生無料)

芳澤勝弘先生講演会

「雲居と白隠」

平成24年10月20日午後1時30分
お問い合わせ

東北歴史博物館(国府多賀城駅隣)

022136810106

寺コンⅡ

心と呼吸を調えて！ さあ、パートナーを見つけよう！

平成24年11月17日(土)午後2時より
先ずは心を落ち着けて読経、3分間椅子坐禅
自己紹介 ゲーム大会 3分トーク1対1
参加費：2,000円

お問い合わせ、お申し込みは東園寺迄
申込用紙、参加要項はFAX、メールでも送付致します。
前回の反省を活かし、人数限定、1対1で確実にお話出来る時間を設けました。前回参加の方も是非お申し込みください。

奉納プロレス開催

不動堂修繕円成を記念し、
奉納プロレスを開催します！
ゼロワン大谷晋二郎選手が来山！
熱き戦いでストレス解消！

場所：不動堂 幼稚園園庭
平成24年10月8日午後3時読経
引き続き奉納プロレス

護摩木(500円)奉納の上
ご観戦下さい。

宗教法人 東園寺 〒985-0026 塩釜市旭町4-1

学校法人 東園寺学園 〒985-0012 塩釜市芦畔町13-51

代表役員 千坂成也 理事長 千坂秀也 花園会・会長 阿部久壽

022(362)0777 寺務所

022(362)8651 中央幼稚園

022(365)5616 第二中央幼稚園

022(364)4444 寺FAX

東園寺ホームページ <http://www.toenji.com>

坐禅会法話会の情報はYahooブログ「布袋の袋」

